令和4年度

木屋平中学校 「学力向上実行プラン」

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

学力向上検討委員会構成

研修主任:

· 委員

【各校の取組状況の把握について】

〇少人数での授業方法の工夫と改善学力向上推進員 〇タブレットの活用、交流学習の推進 校長

◎次の(1)~(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

(1)知識・技能の習得

管理職による授業参観や教員からの報告等,様々な機会を捉え,取組状況の把握を行う。

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
にもまじめに取り組むことができる。 ●漢字や英単語の書き取りに課題がある。	身に付け、自主的・自律的に学習に取り 組むことができる。 ・学習の過程を通して習得した知識・技 能が、既習の知識・技能と関連付けら れ、他の学習や生活の場面で活用する	にアンダーラインを入れさせる。 ・毎日漢字練習をさせ、週1回漢字テストや 英単語テストを実施する。 ・学習支援アプリケーションを利用し、基礎	算10問ずつのテストをする。	組ませることができた。 ・週1回の漢字テスト、月1回の「こや だいラーニング」の実施、学習支援アプ	る。また、文章問題に多く取り組ま

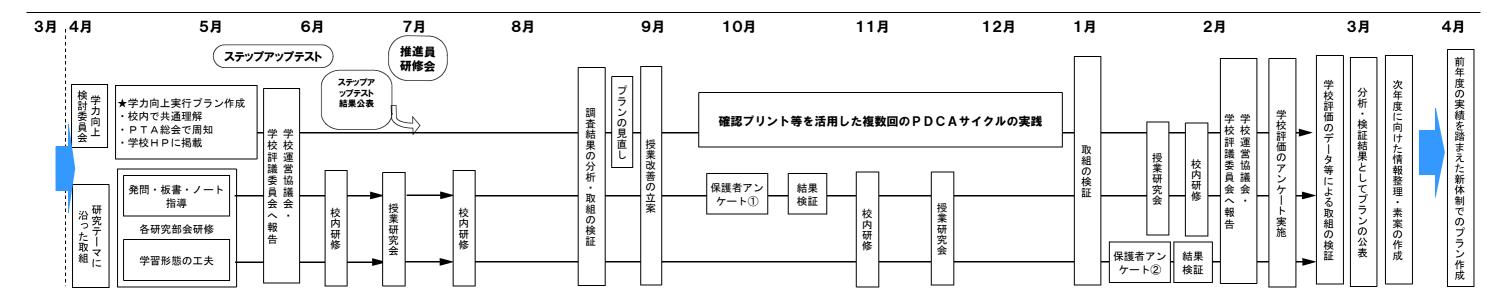
(2)思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項	
発表したり、自分の意見を相手の立場 に立って伝えたりすることができる。 ●課題に応じて、必要な情報等を取り	・自分の考えを述べるときには、判断の	・根拠となる考えを文章にしたり、発表したりする機会を増やす。 ・県学力活用問題等を利用し、思考力を深める学習を月に1回以上取り組む。 ・リモート学習等で他校との連携を図り、多様な意見を取り入れ、考えを深めさせる。			県学力活用問題等を利用したり、他校とリモートでの学習内容を工夫したりして、様々な情報や意見に触れ、考えることを通して、思考力・判断力・表現力の向上を図る。	

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○どの教科の授業にも落ち着いて取り組み、自主的に疑問点を解決しようとする姿勢がある。 ○家庭学習の習慣が身についている。 ●不得意な学習内容に対して、自分で計画を立てて克服をすることに課題がある。	・各教科の学習で、進んで疑問点を解決することができる。 ・120分を目標に家庭学習に取り組むことができる。 ・自分の学習の状況をしっかりと振り返り、自ら課題を見つけ、解決するために計画を立てて実践することができる。 ・読書の習慣を身に付けることができる。	させることで、わかる喜びを実感させる。 ・家庭でのタブレット活用を定着させ、弱点 強化を図るようにする。 ・自ら立てた計画表を振り返らせ、計画を	使って漢字,英単語練習を中心 に取り組ませる。 	・授業や家庭学習での疑問点を進んで質問し、理解を深めることができた。 ・家庭学習の習慣は定着しているが、学習時間は不十分だった。 ・自ら立てた計画表に沿って、取り組むことができたが、不十分なときもあった。 ・読書カードの記録、おすすめ読書の紹介を継続できなかった。	自分の課題に目を向け、タブレット や各教科のテキスト・自主勉強ノート を活用し、自主的に課題克服に取り 組む態度を育てる。また、自ら立てた 計画を振り返らせるとともに、目標を もたせ、その達成に向けて計画の改 善を行う。

令和4年度 学力向上ロードマップ



ı		